

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2019 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

1. 競技場（スタンド等）への入場について

- (1) 正面玄関入口の使用は競技役員のみとし、競技者はメインスタンド等の入口を使用する。開門時の入場は正面メインスタンド入口とする。
- (2) トラック内への出入りは、北西ゲートと南西ゲートを使用する。
- (3) 更衣室および室内練習場への出入りは、メインスタンド下北出入口を使用する。
- (4) 学校受付、キャプテン集合および補助員の出入りは競技役員の指示に従うこと。

2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。
- (2) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- (3) トラックを利用した練習は 1 日目 8 時 40 分、2 日目 8 時 25 分までとする。
 - ・ジョグはレーン外
 - ・1～2 レーンは長距離ペース走用

【1 日目】

[ホームストレート]

3～6 レーン＝コーナーからのスプリント練習 7～9 レーン＝直線からのからのスプリント練習

[バックストレート]

3～7 レーン＝リレー練習 8 レーン＝女 400mH 9 レーン＝男 400mH

【2 日目】

[ホームストレート]

3～7 レーン＝直線からのスプリント練習 8 レーン＝100mH 9 レーン＝110mH

[バックストレート]

3～6 レーン＝コーナーからのスプリント練習 7～9 レーン＝直線からのからのスプリント練習

※リレーバトン練習は 1→2 走と 3→4 走は第 2 コーナー、2→3 走は第 3 コーナーで行う。各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

3. 招集について

- (1) 招集場所は、室内練習場南側に設ける。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始）及び招集完了時刻（移動開始）は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする

招 集 時 間	ト ラ ッ ク	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開 始 時 刻	3 0 分 前	5 0 分 前	5 0 分 前	9 0 分 前
完 了 時 刻	2 0 分 前	4 0 分 前	4 0 分 前	8 0 分 前

- (3) 競技者は招集開始時刻に競技者係より確認をうけること。その際、ナンバーカード、腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に移動する。
- (4) 代理は認めない。完了時刻に遅れた者は欠場したものとして処理する。ただし、2 種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は代理人を認める。
- (5) リレー競技について

- ①オーダー用紙は、第1組の招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は欠場とみなす。(用紙は巻末にあるものを使用)
 - ②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。
 - ③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走る順番の変更は認められない。
 - ④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集場所に待機し、点呼を受けること。
- (6) 腰ナンバーカードは招集開始前に招集場所で受けとり、パンツの右側やや後方につける。ゴール後すぐ返却すること。
- (7) 4x400mRの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (8) 点呼後、招集所から競技場内へ移動する場合、競技役員や補助員の指示に従うこと。
- (9) やむなく欠場する場合は、競技当日の招集開始時刻までに競技者係へ欠場届を必ず提出すること。用紙はプログラム添付のものを使用すること。

4. 競技について

- (1) ナンバーカードはユニホームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- (2) スパイクのピンは、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。本数は11本以内。
- (3) 通信機器(携帯電話等)をトラックまたはフィールド内に持ち込んではいならない。
- (4) トラック種目はタイムレースとする。
- (5) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (6) 長距離競走について
 - ①5000m、3000m、5000mWは胸・背に別ナンバーカードを使用する。招集時に自分のナンバーカードの確認を受け、競技者係から別ナンバーカードを受け取る。ゴール後すぐ返却すること。
 - ②5000m、3000m、5000mWは二段階スタートを行う。グループ分けは出発係の指示に従うこと。
 - ③周回遅れになった選手にタスキを使用する場合がある。監察員からタスキを渡された競技者は、肩からかけて競技を行い、ゴール後すぐ返却すること。
 - ④コーンを使用してフィニッシュと周回を分ける場合がある。競技役員の指示に従って3レーンよりアウトレーンでフィニッシュすること。
 - ⑤競技会運営上、残り1周で5000m 18分30秒、3000m 13分30秒、3000SC 10分30秒を超える選手はレースを打ち切る。また、競歩種目においてはラスト1周で男子5000mWは35分、女子5000mWは39分を超える選手は競歩主任が競技を打ち切る。
- (7) フィールド種目について
 - ①各種目で次の記録以下は計測しないことを原則とする
 - ・走高跳 男子2年1m55 1年1m50 女子2年1m25 1年1m20
 - ・走幅跳 男子5m00 女子4m00
 - ②トップ8は行わない。
 - ③走幅跳・三段跳は1組(メインスタンド前トラック側)、2組(メインスタンド側)で行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を1組、バックスタンド側を2組とする。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

④バーの上げ方は下記のとおりとする。

- ・2年男走高跳は、1m55cm から始めて 1m80cm まで 5cm、それ以降 3cm ずつ上げる。
- ・1年男走高跳は、1m50cm から始めて 1m80cm まで 5cm、それ以降 3cm ずつ上げる。
- ・2年女走高跳は、1m25cm から始めて 1m50cm まで 5cm、それ以降 3cm ずつ上げる。
- ・1年女走高跳は、1m20cm から始めて 1m50cm まで 5cm、それ以降 3cm ずつ上げる。

棒高跳は、2m60cm から始めて 3m60cm まで 20cm、それ以降 10cm ずつ上げる。

女子棒高跳びは、2m00cm から始めて以降 10cm ずつ上げる。

⑤砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

(8) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

5. やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

6. 各種目・各学年6位入賞者に表彰状があるので、表彰席まで取りに来ること。

7. 中央大会への進出について

(1) いかなる事情があっても、この地区予選会にエントリーしない者は中央大会に出場できない。また中央大会出場者は以下のとおりである。

①各種目（リレー・競歩を除く）、学年ごとに3・4地区を合わせてトラック種目上位24名、フィールド種目上位16名、及びシード権を持つ者とする。（24位、16位の決定は抽選で行うことがある）

②リレー種目については3・4地区を合わせて上位32チームとする。

③競歩種目は、4つの地区全体の結果を合計し、記録上位者とシード選手の合計30名。

④全国インターハイに出場する者はシードされ参加申込種目すべてこの地区予選会に出場せずに中央大会に進出できる。ただしエントリー時点で、シード権の放棄を申し出た者はこの地区予選会に出場できない。

⑤地区予選会申込時にエントリー数が①②③④の予選会通過人数を下回る場合はすべて中央大会に出場できる。エントリー人数（チーム）が予選会通過人数に満たない場合は、もう一方の地区からの中央大会出場枠を増やす。

⑦中央大会への出場権を得た者は、自動的に中央大会にエントリーされる。中央大会を辞退する選手およびチーム、またリレー種目の中央大会出場メンバーの変更は、本大会中（最終種目終了後20分以内）すみやかに各地区主任まで辞退届及びリレー変更届を提出すること。

⑧参加校は、中央大会出場決定の旨を地区主任より通知を受けた後、「参加選手一覧表（学校長認知書）」を作成し、中央大会当日の学校受付時に、参加料とプログラム代を合わせて提出すること。

(2) 同記録が出た場合

①トラック種目については規則第167条に従う（資料あり）。

②走幅跳、三段跳、砲丸投、については、セカンド、サード記録で決定する。

③円盤投、ハンマー投、やり投、走高跳については、抽選とする。

資料

規則第 167 条 同成績

2. (着順ではなく) 時間を元にして 166 条 3 (b) によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記 規則により 1/1000 秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

8. 競技場の使用について

(1) 通行禁止、使用禁止等の指示を厳守すること。

①スタンドから競技場トラック周辺に降りての応援は禁止。

②南北の芝スタンド(土盛スタンド)の中段より下には、テントおよびシートを設置してはいけない。

③メインスタンド中段通路より下、メインスタンド屋根下には、テントを設置してはいけない。また、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。記者席は場所取り禁止。

④部旗・横断幕等はバックスタンドか芝スタンドの外側フェンスに設置する。

⑤競技役員および補助員以外はフィールド芝生内への立入禁止。

⑥トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用禁止。

(2) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置かない。

(3) スタンド等使用した場所は各校で責任を持って清掃する。また、競技場内に飲料水のボトル等を放置しないこと。

9. その他

(1) 顧問の受付がない学校の選手の出場は認めない。

(2) プログラムの配布冊数は参加人数より決める。冊数は別頁に記載してある。

(3) 補助員は各校 1~2 名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。

(4) 集団での声援(応援)および不正な助言行動は自粛すること。

(5) 競技中に起こった怪我は、応急処置の他は責任を負わない。

(6) 記録は正面玄関外側の記録掲示板に掲示する。

(7) 盗難の発生や忘れ物が多いので、荷物等の管理は各校で十分注意すること。

(8) 競技終了時間の 30 分前には各校片付け・清掃を開始すること。なお、ゴミは各自持ち帰ること。

(9) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会のウェブサイト(高体連 3・4 地区、<http://www.oaaa.jp/kotairen/34chiku/>)に記載されますが、関係以外には一切使用しません。